

宇都宮大学国際学部

研 究 論 集

第19号

国際社会学科長	
伊藤 一彦：藤田和子先生のご退職に当って	i
：藤田和子先生の略歴と業績	iii
＜論文＞	
藤田 和子，平井雅世，岡本義輝	
：東南アジアにおけるローカリズムとグローバリズム	
—— 諸アクターの事例研究を中心に ——	1
片桐 雅義：評価的イメージ形成における二重過程	31
北島 滋，安藤 正知	
：二元的代表民主主義における市民参加の展開と議会・議員活動	
3つの自治体の事例研究を通して	39
中戸 祐夫：日米韓安保トライアングル研究の最前線	
—— 理論的地域研究への模索 ——	51
MONREAL Pedro：The Problem of Development in Contemporary Cuba	59
友松 篤信，菊入千賀子，志村 英理，佐藤麻衣子，菅原 佳苗	
：NGOのフィールドメソッド [9] 児童福祉 その2	73
友松 篤信，林 朋廣，金子麻衣子，野畑 三佳	
：NGOのフィールドメソッド [10] 自立支援	87
松尾 昌樹：オマーンの国史：忘却と構築	97
佐々木一隆：意味と形式に関する覚書：日本語とベトナム語の時間表現	107
高際 澄雄：パーセルの後半期中葉祝典オードにおける詩と音楽	113
NAKAMURA Makoto：Relative Contributions of Expressions and Elicitors to the	
Judgment of Emotion with Contextual Information:	
An Application of Multilevel Analysis	127
小池 清治：ナショナリズムがエクリチュールを生んだのか？	147
丁 貴連：一人称形式と「新しい人間」の発見	
—— 国木田独歩「春の鳥」と田榮澤「白痴か天才か」——	1
